

平成30年度 公立学校教職員定期人事異動の概況

学校人事課

1 事項の説明

(1) 人事異動の基本的な方針

- ア 全県的視野に立った広域交流に努める。
- イ 各学校の課題解決を図る人事異動に努める。
- ウ 特色ある学校づくりのための人事配置に努める。
- エ 男女バランス、年齢等の職員構成について考慮する。
- オ ヘき地校への異動促進を図る。

(2) 定期人事異動の概況

(校種別内訳)

(単位：人、%)

校種	職員数	異動者数	異動率	前年度異動率
小学校	5,361	1,339	25.0	28.3
中学校	3,029	821	27.1	29.2
高等学校	3,642	877	24.1	21.5
特別支援学校	1,442	292	20.2	24.1
合計	13,474	3,329	24.7	26.2

- ア 定期人事異動は原則5年としており、公立学校本務教職員数13,474人中、3,329人が異動し、異動率は24.7%（前年度は26.2%）となっている。
- イ 退職者数は、小学校が189人、中学校が93人、高等学校が63人、特別支援学校が36人で合計381人である。（前年度は334人）
- ウ 管理職への昇任は、校長73人（女性22人）、教頭59人（女性20人）、合計132人（女性42人）である。

なお、管理職選考試験の受験者等については下表のとおり。

前年度に比べ、受験者は60人増（女性22人増）、合格者40人増（女性16人増）となっており、合格率についても3.7ポイント増（女性5.2ポイント増）となっている。

(参考) 管理職選考試験の受験者等（校長及び教頭）

年度	受験者	合格者	合格率
H30	623人（女性118人）	242人（女性59人）	39.6%（女性50.0%）
H29	563人（ " 96人）	202人（ " 43人）	35.9%（ " 44.8%）
H28	606人（ " 94人）	193人（ " 44人）	31.8%（ " 46.8%）

- エ 事務長への昇任は、課長相当職1人（女性0人）、班長相当職6人（女性4人）である。
- オ 新規採用者数は、教諭435人、養護教諭14人、事務職員18人、学校栄養職員3人、その他職員13人の合計483人（前年度は484人）である。

2 その他（少人数学級の拡大）

あらたに小学校6年生が加わり小学校全学年と中学校1年生において少人数学級を編成することにより、引き続き、きめ細かな指導の充実を図る。